

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2018年 1月



ハナモモちゃん

【発行】河北新報普及センター  
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪  
 【エリア】名取市内  
 【部数】11,600部  
 【電話】022(266)2991

## 大人から子どもまで

### お正月を体感!

●門松づくり  
 門松づくり体験は22日に行われ、地域在住で歴史文化に詳しい、松山正實さんを講師に大人12人が参加しました。

●たこ(凧)づくり  
 27日、増田西小の生徒32人がたこづくりを体験、各地でたこづくりを指導している武田雄雄(たかお)さんが講師を務めました。今回作成するたこはスルメ天旗といわれるたこ。形状がスルメのエンペラに似ていることからその名がついているそうです。

心さんは「先生に手伝ってもらって上手にできました」と満足そうに話しました。

このイベントは青少年健全育成会の親子レクリエーションとして行われ増田西公民館が共催。増田西小の先生方も参加されました。お手伝いで尚絅学院大・子ども学科2年の長崎舞さん(19)は「私自身たこづくりをしたことがありません。

地域の皆さんがこのように協力して子どもたちに伝統を伝えていくことは素晴らしいことですね」と話してくれました。

子どもたちは出来上がったたこを持ち、校庭に移動した。寒空の中、元気にたこを揚げました。

増田西公民館館長の高橋守夫さん(67)は、「公民館や育成会などの地域高齢者は活発に活動している。地域の子もたちを皆が協力して育て、50年後の子もたちへもつなげるように故郷を思う気持ちを育てていきたい」と話してくださいました。

門松に使う材料の竹などは地元愛島で調達したものが使われ、人数分をそろえるのに苦労したそうです。出来上がった門松は素人が作った作品には見えない素晴らしい仕上がりでした。この取り組みは一昨年に始めて行われ、今回で2回目です。

武田先生は子どもたちの名前を呼びながらやさしく指導しました。一つ一つの工程が終わるたび、子どもたちからは「おー!」と歓声が上がっていました。兄妹で参加した志摩朱音(あやと)君(6年)と奏心(かなこ)さん(3年)は、「去年も参加し、要領を得ていたので、今年は簡単にできました」と朱音君、奏

心さんは「先生に手伝ってもらって上手にできました」と満足そうに話しました。

このイベントは青少年健全育成会の親子レクリエーションとして行われ増田西公民館が共催。増田西小の先生方も参加されました。お手伝いで尚絅学院大・子ども学科2年の長崎舞さん(19)は「私自身たこづくりをしたことがありません。

地域の皆さんがこのように協力して子どもたちに伝統を伝えていくことは素晴らしいことですね」と話してくれました。

子どもたちは出来上がったたこを持ち、校庭に移動した。寒空の中、元気にたこを揚げました。

増田西公民館館長の高橋守夫さん(67)は、「公民館や育成会などの地域高齢者は活発に活動している。地域の子もたちを皆が協力して育て、50年後の子もたちへもつなげるように故郷を思う気持ちを育てていきたい」と話してくださいました。



武田先生の説明を真剣に聞く子供たち



空高く舞い上がるスルメ天旗



熊野神社のどんと焼き

## 炎に祈る

### 熊野三社のどんと祭

14日、各地でどんと祭が行われる中、尚絅学院大近くの熊野三社をお参りしてみました。

当日は日曜日ということもあり三社とも駐車場に向かう道路には長い列ができ夕方には沢山の正月飾りが集められていました。

初めにお参りした熊野神社では、以前に出ていた屋台が今回見られず残念に思いましたが、本殿横で振る舞われるつきたてのお餅は健在。おいしくいただきました。

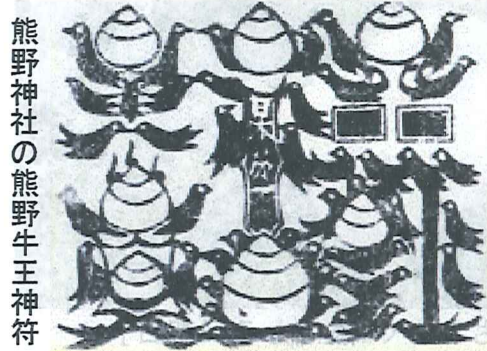
「熊野牛王神符」というお札をいただき、氏子の方々にまつり方を尋ねると「開いて神棚や、玄関に張らないと利益がないよ」と教えてもらいました。調べてみるとカラス文字でかかれた熊野山独特の御神符で、かまどの上にまつれば火難

をまぬがれ、門口にまつれば盗難を防ぎ、病人の床に敷けば病気が回復すると言われているそうです。

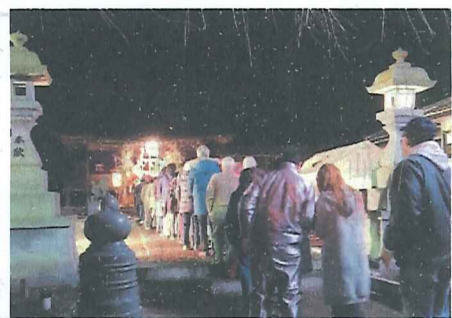
次にお参りした熊野本宮社は、18時を過ぎ時間的にも一番の賑わいで参拝する方々が長蛇の列を作っていました。

最後に参拝した熊野那智神社は目の前に広がる名取市の素晴らしい夜景を見ながらの参拝となりました。

熊野神社の熊野牛王神符



熊野神社の熊野牛王神符



熊野本宮社参拝の列

# 名取産食べ隊 ハナモモ記者が行く Kakapo BEKERY 「カカポベーカリー」 絶品のパン 人気広がる

名取市美田園にある「カカポベーカリー」をご存知でしょうか？  
カカポベーカリーは美田園駅から徒歩5分にあるおしゃれな外観が特徴のパン屋で、昨年2月のオープンから口コミで噂が広がり、今では9時の営業開始から客足が絶えることがなく、早い日には昼過ぎにパンが売り切れてしまうこともあるという人気店です。

店内には35種類ものオリジナルのパンが並んでいますが、その中でオーナーの庄司さんの一押しは「カカポのたまご（180円）」とのこと。店名にもなっている「カカポ」とは、ニュージーランドに生息する鳥のことですが、この鳥の卵をイメージして開発したパンが「カカポのたまご」です。私も試食させていただきましたが、パンの中に上品な口当たりのカスタードクリームがたっぷり入っており、一口食べただけで幸せな気持ちになりました。その他にもクロワッサンやデニッシュなどを試食させていただきましたが、どのパンも生地から小麦粉の旨味をふんだんに感じることができ「うまい」の一言でした。

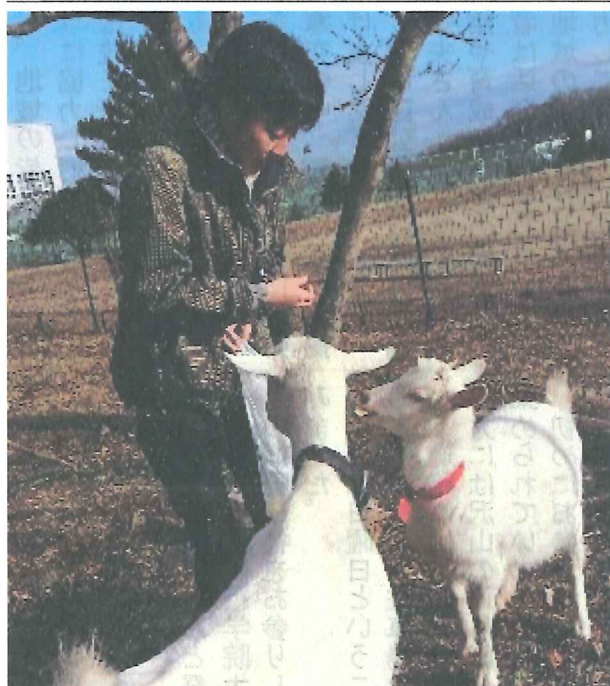
庄司さんにオープン1周年の感想と今後の目標をお聞きしたところ「パンを購入していただいているお客様には『感謝』の一言です。今後は売り切れを少しでも無くせるように体制を整えていきたい」と話していました。

紹介したパン以外にも店内には多くのパンがあります。一度食べたらカカポベーカリーの虜になること間違い無し。ぜひ、皆さんも店に足を運んでいただき美味しいパンをご賞味下さい。



**Kakapo BEKERY 「カカポベーカリー」**  
営業：9時～18時まで（売切れ次第閉店）  
定休日：水曜日\木曜日（臨時休業あり）

名取市美田園 5-5-5-101 022-397-8123



飼育員の増田さんと「とも」と「朝日」

尚綱学院大のヤギ「とも」と「朝日」に会いに来ませうか。  
同大の環境デザイン教育研究センター、環境構想学科が進める「尚綱の森再生プロジェクト」の一環として「尚綱に動物を」ということで昨年11月、宮城教育大からお母さんヤギのとも（13歳）と、もうすぐ1歳になる朝日がやってきました。  
同大は森の近くにあるため、もともと動物が出没することが多く、動物と人間の住み分けをするためには里山を維持することが大切です。ともと朝日には下草や木の葉を食べてもらい里山維持に協力してもらっています。ちなみに、好物は



（青田汐里）

「アオキ」だそうです。  
飼育員の同大環境構想学科4年の増田美鈴さんは「ヤギが来ると分かった時つていました。ヤギを育てる楽しさをもっと多くの人と共有したい。とても可愛くて学生たちの癒しになっています」と笑顔で話してくれました。  
飼育員は現在10人、長期の休みにも世話ができるよう学内で20人を目指し募集しています。  
皆さんも是非とも朝日に会いに来てください。



尚綱の森にヤギが来た

里山再生プロジェクト



もうすぐ1歳になる「朝日」

**プレゼント企画！**  
皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。プレゼント企画として「かほピョンとゆかいななかまたちジグソーパズル」を3名へプレゼント！住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で左記まで。2月4日締切。  
【住所】〒980-0022 仙台市青葉区五橋1の1の10  
【FAX】227-8333  
「KFCハナモモ通信プレゼント」係。

メール：hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp